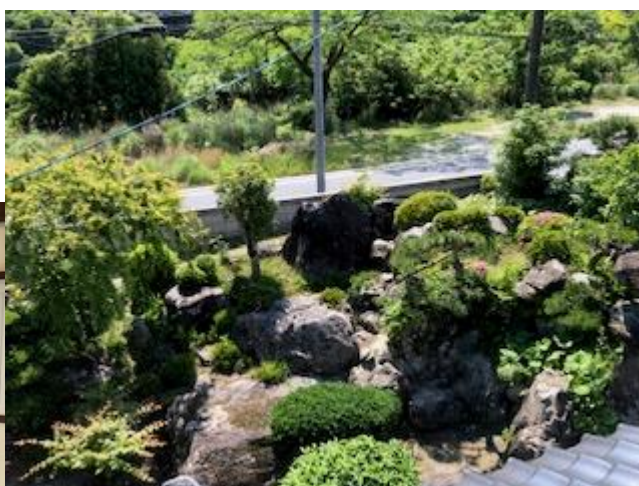




古民家民泊 The Honjorion

野元千寿子リットリンク <https://lit.link/group4c>

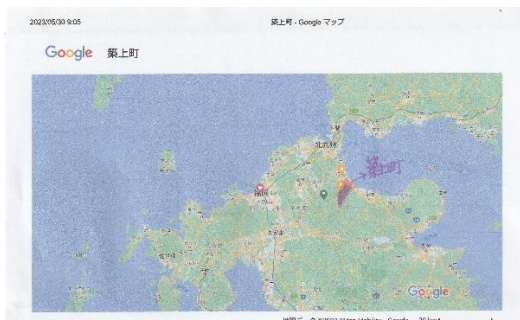
私の実家は直 100 年を超える古民家です。父が亡くなり有効活用を模索していました。



そして、昨年の 10 月に民泊を開始しました。ここを使って人的交流を深めたいという夢を持っていましたので、とぼ口を開くことができました。



実家は福岡県東部の農村地域、築上町にあります。人口は 17000 人。山から海まで 30 キロの細長い町です。



近くには樹齢 1900 年の日本で三番目に大きな「本庄の大楠」という Power spot があります。コロナ禍の前まではライトアップして室内楽などのコンサートをしていました。



町内には、炭鋤王の迎賓館や梅の名所綱敷天満宮などの観光資源もあります。



築上町ホームページ

<https://www.chikujo-rekishi.jp/guide/ookusu/>

最寄り駅は日豊本線築城駅から 10 キロ。路線バスが一日に数往復。東九州自動車道の築城インターからは 8 キロ。コンビニまで 6 キロという立地です。以下の Airbnb のサイトには車で来てください、食べ物は持ち込んでくださいという条件を付けて登録しました。

野元千寿子の AirB のサイト

https://www.airbnb.jp/rooms/552569142143882211?guests=1&adults=1&s=67&unique_share_id=ff2a3d1d-1d94-42f1-a826-a8181b71f9f8

料金が手頃だと感じたのか日本や海外の若者が泊まりに来るようになりました。以前から友人たちが遊びに来ていましたが、それに加えて新しい人達が来るようになりました。日々の出来事はツイッターで記録をしています。

民泊だより

<https://twitter.com/NomotoChizuko>

プサンから 3 人の若者が来た夜、ちょうど実家近くにある「本庄の大樟」を紹介する NHKBS の再放映がありました。1916 年に生まれた私の父はこの大きなクスノキを愛し、94 歳で亡くなるまで 80 年以上もその姿を絵にしてきました。生涯をかけて描いた大楠の作品が番組製作者の目に留まり、昨年「神様の木」として NHK で放映されました。

番組の YouTube を張っておきます。

<https://youtu.be/wVSsLVzJrgw>



(夫の桂、妹の千佳子と父の嶋田隆、私)

今年の連休初日、日本と韓国の国際カップルが来ました。彼女が民泊のサイトを見てどうしても来たいといったそうです。庭でバーベキューをし、私と夫も加わり楽しい時間を過ごしました。



翌朝彼女に、「明日、あなたと同じプサン出身で、国際結婚した教え子が、ご主人と娘さんとくるのよ」と話したら、「私も結婚したら子供を連れてもう一度ここに来ます」と言って、彼の眼をじっと見つめました。そして二人で元気よく手を振って、湯布院に向けて出発しました。

翌日到着した教え子は、滞在中毎日リモートで仕事をしました。ご主人は夫に日本語を習い、三歳の娘さんには七五三を体験してもらいました。



築上町の特産品は菊芋です。町をあげて菊芋の生産を奨励し、弁当、ふりかけ、ドレッシングなど加工品の開発や販売もおこなわれています。

菊芋のふりかけ（合同会社豊築モンステラのInstagramから）

https://www.instagram.com/p/CsGnm3FvA k/?utm_source=ig_web_button_share_sheet&igshid=NTc4MTlwNjQ2YQ==

我が家の隣は小学校です。今年から子供たちに畑で菊芋を栽培してもらうことになりました。



将来はカフェを併設し、お客さんと地元の人々の交流の場にしたいと考えています。そしていつか、ライトアッ

プした大楠の下でコンサートを復活させたいです！

次に、民泊ができるまでの歩みを写真でご紹介します。

これは平成 16 年、拡幅工事前の実家です。うちの前に一車線の道が見え、その向こうには畑があります。家の周りは垣根がめぐらされています。拡幅のための用地買収で 70 本以上の木が伐採されました。



2015 年、家の前の県道を二車線にするために、ブロック塀を壊して、土地を提供しました。



新しい塀を作りました。かつて家や畑があった向かいの土地が荒地になっています。



それまでの広い畑を半分にして駐車場にしました。これまでに3年ほどかかりました。

家の前にはかつて住んでいた人の倉庫が残されました。私たちはこの土地を手に入れて開墾し、菊芋の畑を増やそうと考えました。学校のすぐ前の土地だから、子供たちが使いやすいと考えたからです。



このような作業には多額の費用が掛かります。地元の友人たちが協力してくれました。



大量のがれきとガラスに悩まされました。ガラスはリサイクルができなかったのです。小さく割っては袋に詰め

てゴミ捨て場に運びました。協力してくださる方々と暇を見つけては少しずつ作業しました。畑の体裁になるまでに半年ほどかかりました。私がガラスでけがをした時は、泊まっていた方が医者に連れて行ってくれました。最後は、建設業を営んでいる方が無償で撤去してくださいました。



ま



そして、今年の連休前、小学校の生徒たちが畑にきて作業を開始しました



来年からは菊芋の黄色い花がたくさん咲くと思います。(これはイメージです)



皆様のお越しをお待ちしています！

一緒に菊芋弁当食べましょう！

今後の取り組み

1. 大楠コンサートを復活したい（クラシックに限らず）
2. 大楠神社のお守り作成・販売方法の検討
3. 古民家カフェの運営
4. ドッグランの設置検討
5. グランピングの可能性検討やそれに向けてのコンビニの誘致（小学校の廃校利用）
6. 川から大楠までの親水公園を整備したい
7. 常設のマルシェ（土産物・お守り・農産物などの販売）
8. グローバル共和国主催の「祈りの書道展」を毎年町内で開催したい
9. 夫の写真の趣味を生かして「本庄の大樟」や「京築の四季」などの写真展を開催したい
10. その他

そのためには皆さんのアドバイスをよろしくお願いします。

そして、一緒に考えて行動する仲間を増やしていきたいです。